

平成30年度

萩市消費生活モニター通信②



©萩市消費生活センター

萩市 消費生活センター

萩市消費生活モニター通信② 目次

| | |
|--|----|
| 架空請求 | 1 |
| 洗濯について | 2 |
| レジ袋について | 3 |
| 免許の返納について | 4 |
| 高齢化について | 5 |
| 防犯カメラについて | 6 |
| サンライフ萩の利用について | 7 |
| 山口ゆめ花博を見学して..... | 8 |
| 萩市消費者セミナーに参加して..... | 9 |
| 「知って役立つ！薬とサプリメントの正しい知識」を 聴講して | 10 |
| 「女性たちの明治維新」を聴講して | 10 |
| 研修会に参加して | 10 |

架空請求

「Fm Amazon 会員登録の未納料金が発生しております。本日中に連絡なき場合、法的手続きに移行します。 Amazon WEBサポートセンター 03●●●●●●●● ……END……」

私の携帯に入ってきました。他の人には、このようなメールは無視しなさいとか言えるのに、いざ自分に入ってくるとやはり不安になるものですね。早速、削除しました。

(消費生活センター)

2018年度に全国の消費生活センター等に寄せられている架空請求に関する相談は、2017年度の同時期と比べ約2倍近く増加しています。萩市消費生活センターでも昨年度から架空請求の相談が増加し、全体の3割を占めています。その内ハガキによる架空請求が大半を占めています。今回の情報提供のような、携帯への実在する会社を騙った架空請求メールの相談も後を絶ちません。最近では宅配業者を騙った詐欺メールが届き、付随したURLをクリックするとウイルスに感染するという相談も増えています。

「架空請求」の認識はあっても、いざ自分の身に経験するととても怖い思いをすることが多く、ましてや認識のない場合に架空請求メールやハガキが届くと、本当に不安に陥っていると想像できます。そういう時はあわてて相手に連絡する前に、ひと呼吸置いて、不安な時こそ「消費生活センター」に相談してください。



©萩市消費生活センター

洗濯について

洗濯機の水量表示と液体洗剤の水量（洗濯量）対応の洗剤量が違っており、洗剤量が正確に量れずに困っています（前に使用していた洗濯機と洗剤の量は、一致していました）。他の洗濯機は、どうなのでしょう。他の使用者は、全く困っていないのでしょうか。疑問に思いました。

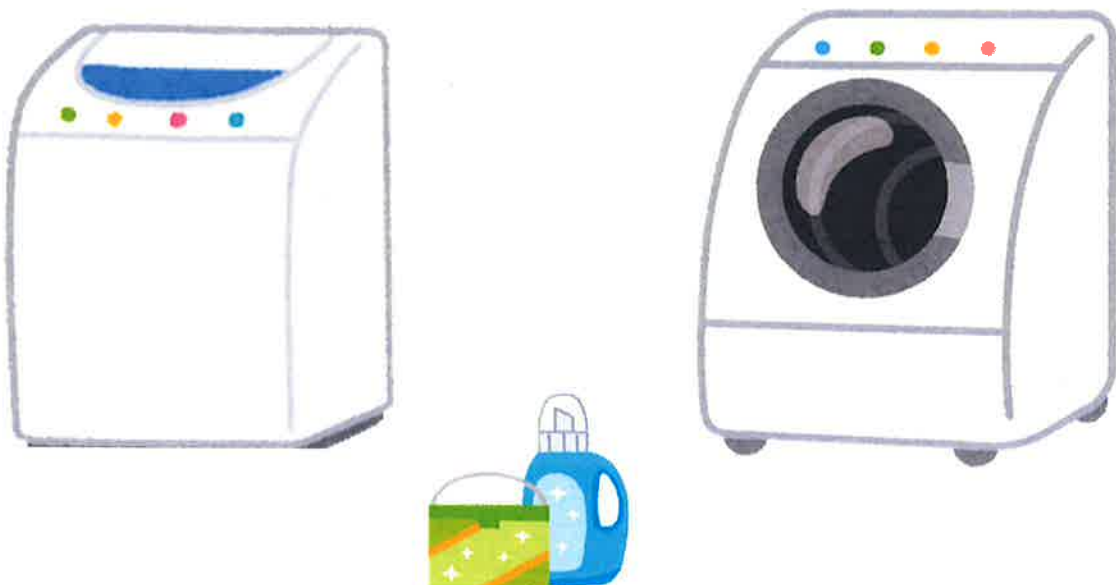
（消費生活センター）

普段何気なく使っている洗剤ですが、洗剤の使用量は、洗剤の種類によって異なります。その理由は粉や液体といった剤型が違っていたり、同じ液体洗剤でも濃縮されている度合いが異なっていたりするからです。また、洗濯機には、それぞれ基準となる洗剤があり、操作パネルに表示されている洗剤量は基準となる洗剤に合わせたものなので、使用している洗剤が基準となる洗剤と異なっていることもあります。

洗剤の適切な量は、洗濯物の量によって決まります。また、洗剤の適切な量を確認する方法は、使用する洗濯機によって違います。

- ・タテ型の洗濯機に多いのが「水量」を表示してくれるタイプで、「水量」「水位」表示にあわせて洗剤の量を考える。
- ・ドラム式の洗濯機に多いのが「水量」ではなく、「洗剤の量」を表示するタイプで、洗濯物の量をはかって水量計算し、必要な洗剤量を自動で計算してくれるが、必要な洗剤を「何杯」と表示するので、洗剤の種類によっては適切な量が違うので読み解かなければならない。

また、新しく洗濯機を購入されたのであれば、洗濯機のメーカーのお客さま相談窓口等で質問されるようお勧めします。



レジ袋について

プラスチックゴミが、世界中で問題になっており、各国が早急に対応しています。日本ではプラスチックストローを紙製に変えたり、レジ袋を有料化するの各経営者の環境問題に対応する考えが高いか低いかで、なかなか減量・廃止には至りません。

スーパーやコンビニでも、当然のようにレジ袋を出してくれるところもあり、依存している自分があります。普段、マイ袋を持っていても、いただけるものならいいかと「袋、要りません」という言葉を飲み込んでしまいます。これでは、いけませんね。



消費者である私、いえ、地球人である私が環境問題を考え、少しでもゴミを出さないよう、一つずつ出来ることをやっていこうと思います。まず、個人が意識を持って「レジ袋は要りません」と言えるように、私が率先します。

蛇足ですが、こんな風にゴミが大量化したのは、スーパーなどの過剰包装やサービス過剰と、それに慣れっこになった私達があると思います。機能や便利さだけを追求したり、プラゴミをお店で破棄できるようにしたサービス過剰に慣れっこになり自分で始末をする責任を負わなくなり、誰かがしてくれる、私ぐらいいいやと思うようになったのではないかと考えます。少しでも改善できるように、みんなが環境のことを考えてくれますように。

(環境衛生課)

現在、地球規模で海洋汚染や景観・自然環境の悪化など、プラスチックごみによる環境破壊が世界中で問題となっています。

萩市では、平成 5 年に萩市連合婦人会による過剰包装自粛運動を皮切りに、指定ごみ袋制の導入やプラスチック製容器包装など容器包装廃棄物の分別収集をスタートし市民・事業者と意見交換をしながらごみ減量化対策を進めてきました。また、平成 14 年から、市、萩市快適環境づくり推進協議会が県内に先駆けてマイバッグ持参推進運動を展開し、マイバッグコンテスト、市民・事業者・行政参加によるマイバッグ持参推進対話集会等を開催してきました。

平成 21 年に県は全市町と事業者で容器包装廃棄物の削減に関する協定を締結し、レジ袋の有料化・削減に向け取組み現在に至っております。

ご指摘のように、プラスチックごみの削減には、他の誰かが解決してくれるのを待つのではなく、まず日々利用している私たちひとりひとりが、できることから実践していかなければ問題解決には至りません。

いただいたご意見を参考にごみ減量化に向けた施策を展開して参ります。



免許の返納について

最近、老人の自動車運転事故のニュースを多く聞きます。60歳、70歳になると、運転免許の更新時の条件（検査）が、年齢をおうごとにあると聞きます。

免許を返納した場合、萩市として、何か交通で援助になる制度があるのでしょうか。教えてほしいです。その内容を地域の人にも、伝えたいです。

（市民活動推進課）

運転免許証の更新期間が満了する日における年齢が70歳以上になる方には、高齢者講習が義務づけられています。また、運転免許証の更新期間が満了する日における年齢が75歳以上になる方には、認知機能検査を受検して高齢者講習を受けることが義務づけられています。

現在、萩市においては、免許返納後の交通で援助になる制度はありませんが、平成30～31年度において「萩市地域公共交通網形成計画」を策定し、市内の公共交通を抜本的に見直すなど、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段を確保する対策を講じております。



高齢化について

地区の集会、色々な行事参加の際思うのが、この先いつまでこれが維持出来るのかと不安になることしきりです。それだけ、高齢化は深刻になっています。

(高齢者支援課)

高齢者人口の増加とともに要介護認定を受ける人、認知症高齢者の増加も見込まれます。

そのため、医療・介護などの公的なサービスだけではなく『地域』の力を活用しながら高齢者を支えていく「地域包括ケアシステム」の構築が必要になっています。

この「地域包括ケアシステム」とは、高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで持続できるように、介護や医療、さらには住まいや介護予防・生活支援といった、高齢者を支えるサービスを切れ目なく一体的に提供するシステムのことです。

萩市では、高齢者自らが健康づくりや介護予防に取り組めるよう、高齢者いきいきサロンや老人クラブ、その他の団体において実施されている介護予防活動・健康づくり事業への支援を行っています。また、住民運営の通いの場を充実させ地域づくりによる介護予防の推進にも努めています。

例えば、民生委員・児童委員、婦人会、保健推進員、地域サロン関係者、地域ボランティアグループなど地域住民の皆さんが地域ささえあい推進員となり、地域ささえあい協議体を立ち上げ、家事援助等の訪問型のサービスやサロン活動等の通所型のサービスを提供しています。

また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのひとつとして、認知症について正しく理解し、認知症の人に対する偏見をもたず、ご本人やその家族を温かい目で見守り、適切な声かけや対応をしてくださる「認知症サポーター」の養成を行っています。

同時に、認知症支援ボランティアを養成して、地域で『認知症カフェ』を開催するなど高齢者が出る場の支援を行っています。



防犯カメラについて

防犯カメラについてですが、お店の店内では、今は当たり前のようにいたる所にカメラがついていますが、公共施設内には、ほとんどついていないように思います。出入口、玄関等ぐらいで、中までは設置されていません。昨今、様々な事件、事故が起こる中、これからはより多くの防犯カメラの設置を望みます。

先日、娘が図書館で友人と勉強し、途中、昼食をとる為、勉強道具を机に置いてその場を離れました。戻ってくると、友人の勉強道具はそのままでしたが、娘の物は、全てなくなっていました。幸い、財布、スマホ等の貴重品は本人が持っていました、テスト期間中で、教科書等が無く、本人もかなり落ち込みました。

防犯カメラは、出入口しかありませんので、調べることもできませんでした。

このことで、親子でいろいろな事を考え、いい教訓になりました。

今回は、この程度で済みましたが、今後、様々な事件、事故等に対応するためにも、カメラの設置を増やす必要があるのかと思いました。

(財産管理課)

萩市の公共施設については、現状では、殆どの施設に防犯カメラは設置していません。また、設置している施設についても、基本的には施設管理の観点から設置しているという状況です。

防犯カメラは、24時間撮影が可能であることから、犯罪の抑止効果があるとともに、犯罪発生時には容疑者の特定にも役立つなど、安全で安心して暮らせるまちの実現に大きな役割を果たすことから、全国的に防犯カメラの設置が進んできているところですが、その一方で、自分の姿が知らないうちに撮影され、目的外に利用されること等に不安を感じておられる方々もいらっしゃいます。

全国的には、防犯カメラの実用性とプライバシーの保護との調和を図り、防犯カメラに対する住民の不安を緩和するため、「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」等を定め運用している自治体もあります。

については、市においても、防犯カメラの実用性とプライバシーの保護との調和を図るため、同様の基準を整備した上で、防犯カメラの設置を検討していきたいと考えます。



サンライフ萩の利用について

以前、主催者としてサンライフ萩を利用していた時に、来場者が多く駐車場を埋め尽くすような状態になってしまったことがありました。その時に、施設の担当者から、他の利用者のために駐車場を開けてほしいので、隣のグラウンドに入れるようにしてほしい旨の申し入れがありました。館内放送ができるならば入れてほしいとお願いをしましたが、そういったことは利用者で対応してほしい、協力しませんと言われましたので、その場は仕方なく対応しました。

対応の仕方によっては、施設を利用される方の減少にもつながっていくと思いますがいかがでしょうか。

(文化・生涯学習課)

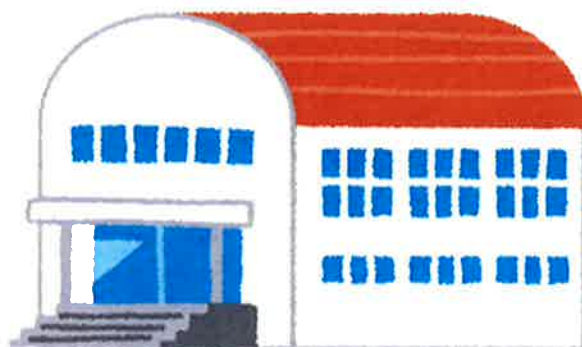
サンライフ萩は、萩市の施設で市から指定を受けた「指定管理者」が管理運営を行っています。

ご意見のありました管内放送については、万が一の火災発生時や災害時に建物内の人々を安全に誘導するための非常用設備です。そのため、館内放送は、ホールなどの放送設備を使って周知を図るよう、萩市から指定管理者に指示しています。

指定管理の発注者である萩市としましては、平素から「指定管理者」に対し、「傾聴力を高め、利用者の皆様の気持ちに寄り添った対応を行うよう」と指導しています。

この度のようなご意見、ご指摘がありましたことは誠に遺憾であり、引き続き「指定管理者」に「傾聴、親切丁寧な窓口対応、並びに担当社員の資質向上」に努めるよう指導してまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

なお、この度のご意見につきましては、次回の「指定管理者」選定時の参考資料にしますことを申し添えます。



山口ゆめ花博を見学して

各地の花博は、いろいろと見学してきましたが、今回、山口ゆめ花博の未来の庭園のたくさんのブースの説明を聞きながら見学して本当に良かったです。

今までの見るだけの庭園ではなく、中に入って自分も楽しむというコンセプトが大変気に入りました。それから花の名札はありませんでしたが、花の名前が分からなくても、花の色のグラデーションの美しさ、素晴らしかったです。園内にゴミ一つ、落ち葉もありません。リピーターが多いのが理解出来ました。

我が町、萩も、この様に観光においておもてなしが出来ると、リピーターが増えると思います。

世界遺産がたくさんあるので、ぜひ利用、検討していただきたいと思います。

(観光課)

萩市にごさいます世界遺産の構成資産につきましては、ただ見るだけでは、その価値がわかりにくいということから、しっかり楽しみながら、ご理解もしていただきたいため、萩・明倫学舎2号館に世界遺産ビジターセンターを設置し、シアター映像やふいご体験、松下村塾セットでのアニメーションによる解説などを行っているところです。また、各構成資産におきましては、常駐ガイドを配置しておりますが、より一層のおもてなしの心を持った対応ができるように、ガイド研修や接遇研修などに努めてまいります。

観光地美化につきましては、定期的な清掃のほか、市内各地で様々なボランティアの方にもご協力をいただいているところですが、ご提案のとおり充分ではなく、リピーターの誘致にも大切な条件であり、改善を検討してまいります。

今後も、官民一体となっておもてなしに取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



萩市消費者セミナーに参加して

10月30日博物館にて、萩市消費者セミナーがあり、千葉一敏氏の「知って役立つ！薬とサプリメントの正しい知識」の演題で講演を聞きました。薬剤師の他、たくさんの資格を持たれ、具体的な事例も出しながらわかりやすかったです。

ジェネリック医薬品が決していやがるものではなく安全なものである事。OTC医薬品は病気を治療するものであり、健康食品は健康維持増進を目的とするもの。サプリメントは医薬品の代わりはしない。他にトクホの存在も知りました。

現在、健康ブームでいろいろな情報が流れ、電話で申し込み、トラブルも発生しています。身近にこういう人がいたら、助言してあげようと思います。

萩市消費者セミナーに参加して

萩市消費者セミナー「知って役立つ！薬とサプリメントの正しい知識」に参加しました。処方薬、薬局で買える薬、健康食品及びサプリメントとそれぞれに分けて話をしていただきました。薬に関しては副作用があるということはよく知られているので、飲み合わせの問題などはたいてい解っていたつもりであったが、健康食品やサプリメントにもそのように気を使わなければならない、ということは初めて聞きました。また、サプリメントについてのアドバイザーが存在し、相談できるということも初耳でした。



特にサプリメントについては、あくまでも食事に足りないものを補うものであって、数日飲んだからといって、劇的に効果あるものではなく、数か月の単位で飲まないとも効果があがるものではなく、またその効果も目に見えるようなものではない、ということを知っていたつもりであったが、改めて気付かされました。講師のおっしゃる通り、「魔法の食品はない」のです。このことを肝に銘じたいと思います。

「知って役立つ！薬とサプリメントの正しい知識」を聴講して

テレビをつけていると通信販売のコマーシャルが何度も出てきます。高血圧が改善したとか、痛みが取れたなど薬と同じような効果があると言っています。有名人や医師の口添えがあれば、信じてしまいます。興味はあるけど、半信半疑で注文できない感じがありました。



今回、薬とサプリメントの話聞いて、病気を治すには処方された薬を服用し、サプリメントの形状は薬と似ていても薬ではなく、健康食品で健康維持・増進のための使用は出来るとの話でした。健康の基本の考え方を忘れず、手助けとして健康食品・サプリメントを利用することも有りです。気になったら、まず、薬剤師の方に聞いてみようと思います。

「女性たちの明治維新」を聴講して

興味のある話で、大変面白く聞かせていただきました。男社会の時代にあって、自分の生き方を考え、思いを表現でき、行動力を持った女性に憧れます。何もないこんな私でも、地域に貢献できればと行動を起したいです。

研修会に参加して

前半、多くの研修会に参加させていただきました。

5月は、萩長門清掃工場はなもゆ見学では、ゴミ処理施設ではないように清潔感ある施設で驚きました。ゴミが処理される様子を少しでも多くの住民が見学され、ゴミの減量に繋がれば良いと思いました。

6月の法と福祉のセミナーで、資料の中に高齢者と障がい者のための弁護士電話法律相談日が毎月2回実施されている表を頂き、恥ずかしながら初めて知りました。

7月の大井不燃物埋立処理場、萩第二浄化センター、エコプラザ萩の見学は、どの施設も初めての見学で、大井の不燃物処理場では空調設備のない囲われただけの場所で地道にゴミを分別されている職員さんに頭が下がる思いでした。また、ボタン電池の有害を一番懸念されているという職員さんの話を聞き、少しでも“決して燃えるゴミに出さないで欲しい”と住民に伝えていかなければ…と思い、帰路につきました。

本当に、勉強になる研修を企画して頂きありがとうございます。

萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

